

小学3年

社会

工場ではたらく 人の 仕事

パンができるまで

自分で 考えて 書きましょう。わからない ときは、QRコードで 動画の 場面を 見よう。

- ① 工場ではたらく 人が 白い 服と ぼうしを 身に つけ、手を よく あらうのは 何の ためですか。「パンを 早く 焼く ため」「パンに ごみや ばいきんが 入らない ように する ため」「自分の 服を よごさない ため」から えらぼう。



動画で 見る

場面 5

「せいけつに する 工夫」

- ② 「焼く」「こねる」「形を ととのえる」を、パンを つくる 仕事の 順番に ならべよう。



動画で 見る

場面 3

「こねて 焼く」

工場ではたらく人の仕事

パンができるまで

- ① 工場ではたらく人が白い服とぼうしを身につけ、手をよくあらうのは何のためですか。「パンを早く焼くため」「パンにごみやばいきんが入らないようにするため」「自分の服をよごさないため」からえらぼう。

ヒント パンを食べる人のことを考えよう。

答え 「パンにごみやばいきんが入らないようにするため」です。食べ物をつくる工場では、せいけつにすることがとても大切です。

- ② 「焼く」「こねる」「形をととのえる」を、パンをつくる仕事の順番にならべよう。

ヒント 生地ができないと形はととのえられないね。

答え 「こねる」→「形をととのえる」→「焼く」です。じっさいには、こねたあとに生地をふくらませてから形をととのえます。焼いたあとは、さまして「ふくろにつめる」、そして「出荷」です。